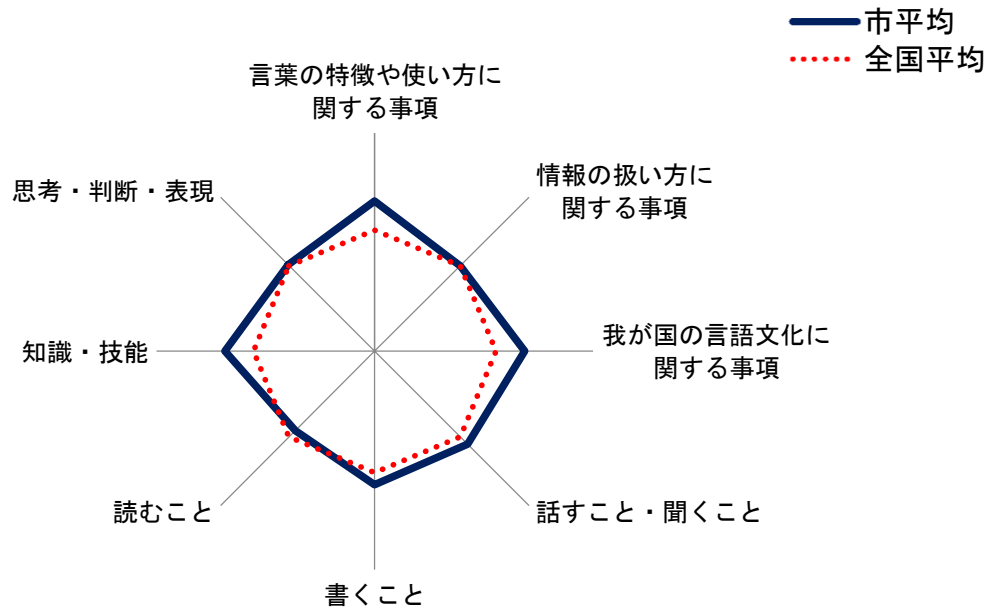
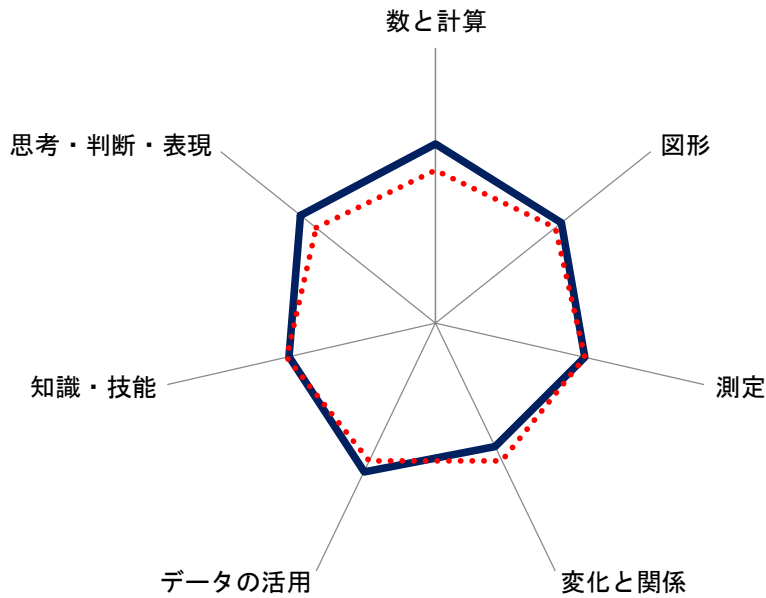


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

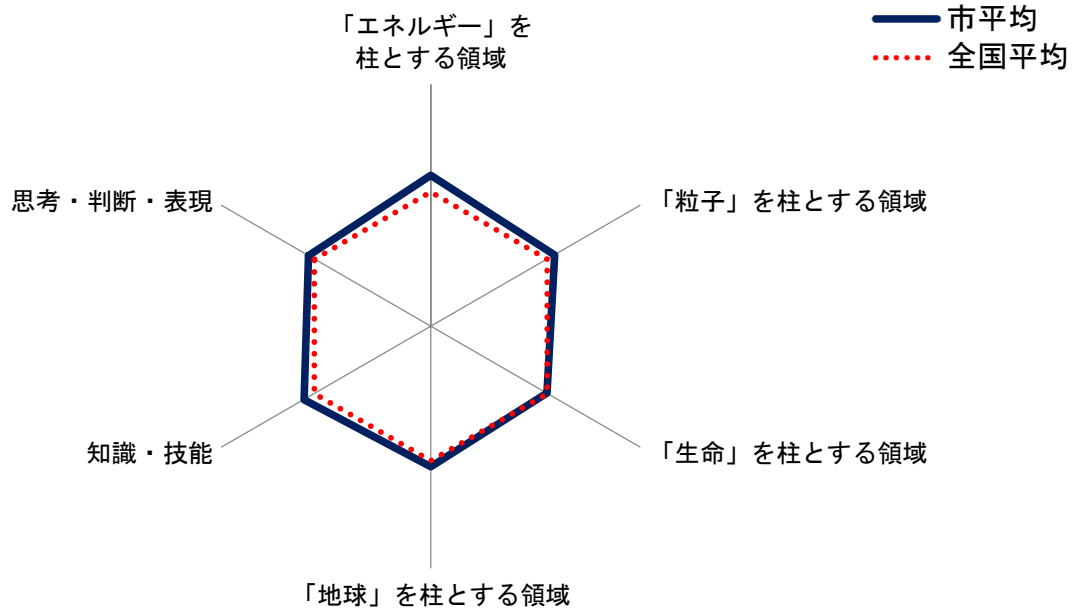


【算数】

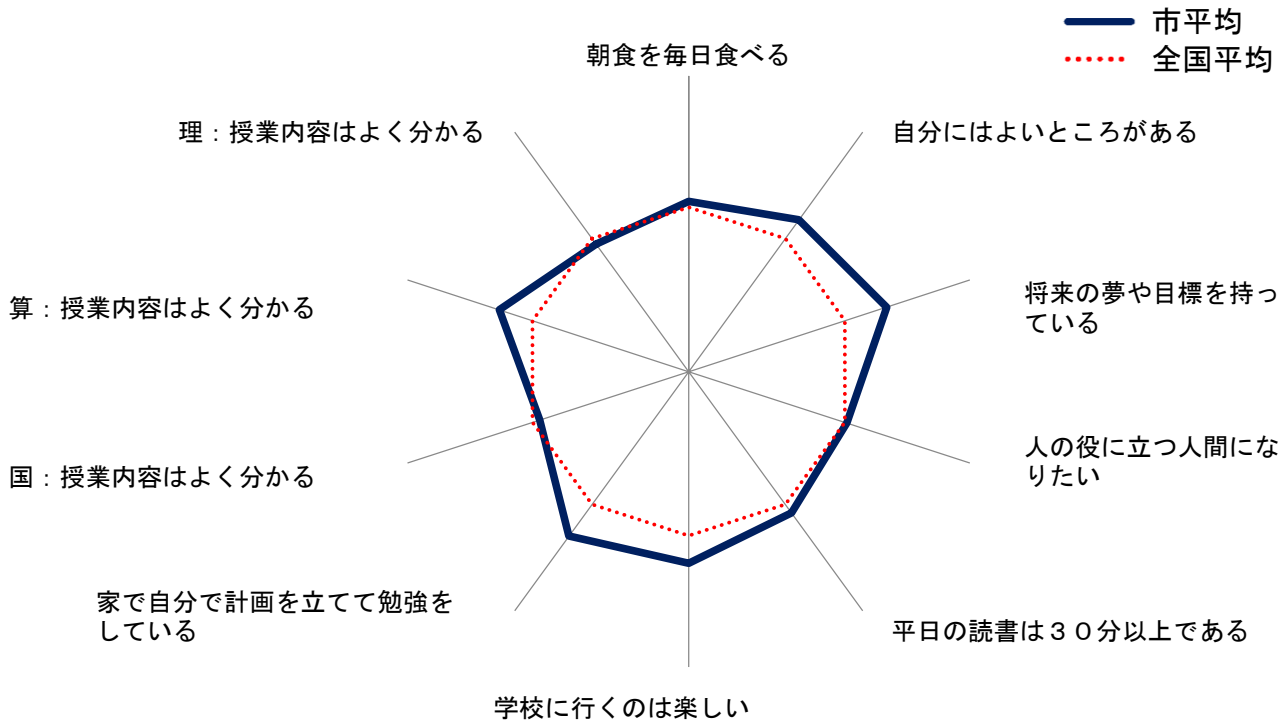


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、ほとんどの項目が全国平均とほぼ同じか上回っている。特に、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の項目は全国平均を大きく上回っており、良好な結果となっている。一方、国語の「読むこと」、算数の「変化と関係」などが全国平均を下回っており、これらの学習内容の定着に課題が見られる。今後も、更なる学力の定着と向上に向けて、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、ほとんどの項目が全国平均を上回っている。特に、「将来の夢や目標を持っている」は全国平均を大きく上回っており、キャリア教育が継続して行われている成果が見られる。一方、国語、理科の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を下回っており、今後、児童にとって「楽しい授業、分かる授業」になるよう、積極的にICTを活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善をより一層推進することが望まれる。